

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービスあかまつ

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

年

月

日

法人（事業所）理念		和楽「すべての人たちがすべてのことに感謝でき和やかで楽しい日々とまろやかで幸せな人生をおくれますように」						
支援方針		「できるが増える。自信が育つ。生きる力になる。」 視覚認知・思考力・身体の動かし方や姿勢など、生きる力の基礎となる発達を個別に支援します						
営業時間		9時	0分	17時	30分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支援内容								
本人支援	健康・生活	子どもの心身の健全な成長を促進するため、日常生活の基本的な習慣やスキルを育む取り組みを行います。また、健康状態のチェックと必要な対応を実施します。持ち物の管理や道具・玩具の用意および片付けを自立的に行えるよう支援します。また、場面に応じて部屋の使用を調整し、パーティションを活用することで、集中しやすい環境を整えます。タイムタイマー、絵・文字によるスケジュール表を使用し、予定を視覚的にわかりやすく提示することで、安心して活動に取り組めるように配慮します。						
	運動・感覚	着席して活動する時間と、身体を動かす時間を組み合わせることで、集中力や忍耐力、達成感が育む支援を行います。子どもの特性や身体面に応じた椅子や机を用意し、姿勢を維持しやすい環境を提供します。文字をなぞる、迷路を解く、道具を使用した制作活動などを通じて、目と手や体を運動する練習を行います。これらの活動を通じて身体感覚を養い、自己調整能力の向上を目指します。						
	認知・行動	言語や記憶力を育む認知トレーニングを提供し、ルール理解や感情コントロールを促進することで、自己理解を深める支援を行います。具体物や絵カード、写真を用いた課題、プリント学習を通じて、数の操作や形、大きさ、時間などの概念を習得します。活動の始まりと終わりを明確にし、見通しを持てるようスケジュールやタイムタイマーで知らせ、時間を意識した行動することを支援します。視覚刺激を抑えた環境を提供するため、パーティションや個別の部屋を用意し、感覚特性に配慮します。						
	言語コミュニケーション	自分の希望や要望を伝えたり、受援力など、自分を大切にするための行動を生活の中で実践できるよう支援します。絵カードや身振り、文字を活用し、子どもの特徴やニーズに応じたコミュニケーション手段を提供します。プリント学習を通して文字を読み書きする力を育むとともに、遊びの中で他者とのやり取りを練習します。職員が見本を示したり助言を行うことで、スムーズなコミュニケーションの習得を支援します						
	人間関係社会性	遊びや活動を通して、場の共有、順番を守る、ルールに従う、他者と協力する、失敗や負けを受け入れるといったスキルを育成する機会を提供します。友達との関わり方について、職員が見本を示し、助言を行うことで、肯定的な関わりを増やす支援を行います。また、地域生活を安心・安全に過ごすための基礎的な社会スキルの習得を目指します。						
家族支援		家族が支援の様子を見学できる機会を設けます。また、保護者が困りごとを相談できる環境を整えます。職員が随時相談に応じ、家庭での対応についてアドバイスを提供します。また、子どもの支援状況を共有することで、ご家庭との連携を深めます。			移行支援		学校での支援方法や子どもの状態について、保護者や関係機関と情報を共有します。子どもに必要な支援方針を協議し、家庭や地域との連携を深めることで、学校生活へのスムーズな意向を目指します。また、学校との情報交換を通じて、地域生活の中でのサポートが一貫性を持って行われるよう支援します。	
地域支援・地域連携		地域支援・地域連携を通じて、子どもの成長を支えるためのサポートを提供します。保護者、学校、医療機関と連携し、療育や生活支援を充実させます。地域の中で安心して生活できる環境を整えます。また、発達特性への理解を深めるための啓発活動を行います。			職員の質の向上		内部研修や外部研修への積極的な参加を推進し、職員の専門性向上を図ります。ケース検討会議を定期的実施し、職員間の情報共有やスキルアップを促進します。また、支援の質を向上させるため、最新の知見や実践方法を導入します。	
主な行事等		具体的な行事内容については、対象となる子どもや家族のニーズに応じて計画し、地域資源を活用した多様なプログラムを提供します。						